

海外安全対策情報第2四半期（4～7月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）シリアをはじめとする主に中東からの難民が国内に流入しており、昨年9月以降、ソフィア市及び各地方都市において、治安当局により数十人単位で不法難民が拘束される事案が継続して発生している。

本年5月にはソフィア市内の難民保護施設周辺において、難民同士の衝突を端とする傷害事件も発生しているが、一般市民の巻き添えはない。

（2）本年6月、黒海沿岸の観光地ブルガスのクラブにおいて、犯罪組織の抗争から発砲事件が発生、死傷者が出たが、一般市民の巻き添えはない。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していない。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

以上